



保二小だより

[9月号] 家庭数配布

令和7年9月1日発行
西東京市立保谷第二小学校

災害への備え

校長 斉藤 境栄

9月1日は防災の日です。102年前の大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者10万5千余人という大惨事になりました。この震災を教訓として、一人一人の防災対策の重要性を広く国民に理解してもらうため、9月1日が防災の日と制定されました。また、防災の日を含めた9月は防災月間です。9月は1年の中でも特に台風が来て、風水害の多い時期です。啓発を行う日を設けることで、国民一人一人が地震、風水害などの自然災害への認識を深め、対処する心構えを身に付けることが制定の目的となっています。

本校でも自然災害を含めた災害への備えとして、引き取り訓練、一斉下校訓練、大型台風接近を想定した避難訓練、地震や火災を想定した訓練など、災害が起こったときのため、災害の被害を最小限にするため、防災のための訓練を1か月に1回行っています。

地震、台風等の荒天、洪水などが今後起こる、または起こった際に児童を保護者の方等に引き渡すことがあります。引き渡しをお願いする場合、保護者の方々にはメールでお知らせすることとなります。また、西東京市では震度5強以上の大地震が起こった場合は、保護者の方等へ児童を引き渡すこととしています。

引き渡し場所は教室、校庭、体育館など状況に応じて決定します。広範囲にわたる災害の場合、電話やメールがつながりにくくなることが予想されます。道路は、通行しにくい場所、通行できない場所が発生するかもしれません。公共交通機関の運転取りやめや遅延など、混乱も予想されます。4月に実施しました引き渡し訓練のように短時間で引き渡しが完了することはまずないと考えられます。学校は、最後の1人の児童が「災害時引き取り人」に引き渡されるまで、児童を安全にお預かりいたします。保護者の皆様は、ご自分の身の安全をまず確保され、焦ることなく学校までお子様をお引き取りに来てくださいますようお願いいたします。兄弟姉妹がいる場合、上級学校・上学年から引き取りをお願いいたします。年齢が小さい児童や幼児が帰宅や避難のために歩く距離をできるだけ短くするためです。

地震、荒天、洪水等で一斉下校を実施することがあります。コースの担当教員と共に、コースごとに児童がまとまって自宅等へ下校します。一斉下校を実施した際、ご自宅等に保護者の方がいらっしゃらない、鍵を所持していないなどの理由から児童が自宅等に入ることができないことが想定されます。その際は、コース担当の教員が学校へ帰校する帰路で児童を收容し、学校で預かります。その後保護者等にご連絡差し上げ、引き渡し等をいたします。

自然災害は、いつやってくるかわからないことがほとんどです。児童が学校に在校していない登下校時や放課後にも災害がやってくることも想定されます。災害時にどこに避難するか、自宅での避難を想定したときに備蓄食料はどんなものを揃えたらよいか、非常持ち出し品はどこに置いてどんなものを揃えるか……家族でお話いただけるとよいと思います。

9月13日（土）土曜学校公開で防災体験学習、避難所開設訓練を実施し、保護者、地域に公開いたします。昨年度実施したことを踏まえながら防災意識の高揚、災害が起こったときの行動の仕方を体験すること、避難所運営を共に支える意識と経験を積むことなどを目的として行います。災害時に地域が結束して共に支え合うための訓練に児童とともにご参加ください。詳細は後日、文書でお知らせします。

「備えあれば憂いなし」ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

登下校のきまり・放課後の過ごし方

生活指導部

日頃より、保護者・地域の皆様には、登下校や放課後の子どもたちの見守りを行っていただき、ありがとうございます。1学期は、放課後の公園での過ごし方や登下校の仕方などが課題となりました。2学期は交通事故に気を付けて、放課後の過ごし方も考えていってほしいと思います。学校では、登下校や放課後の過ごし方について、注意喚起を行っています。

【登下校のきまり】

- ・決められた通学路を通る。
- ・お世話になっている地域の方に挨拶をする。
- ・横断歩道を渡るときは、右・左・右を確認する。
- ・道路への飛び出しは絶対にしない。
- ・歩道を歩く。
- ・熱中症に気を付けて行動する。
- ・民家など私有地に入らない。

【放課後の過ごし方】

- ・自転車に乗る時はヘルメットをかぶる。
- ・夕方のチャイムが鳴ったら家に帰る。
4月～9月・・・午後5時30分
10月～3月・・・午後4時30分
- ・けがや事故につながる危険な行動はしない。
- ・地域の方に注意されたら、きちんと話を聞く。
- ・人に迷惑を掛けない。 など

※ご家庭でも登下校と放課後のルールやきまりについて改めて話し合ってください。

ティープロ サポーターバンクについて

西東京市教育委員会より以下の記事について掲載依頼がありましたので、ここに掲載いたします。

公益財団法人 東京都教育支援機構（TEPRO）では、TEPRO Supporter Bank（以下、「人材バンク」という。）では、支援を求める都内公立学校や教育委員会へ外部人材（個人サポーター/企業・団体サポーター）を紹介しています。

令和6年度末現在個人登録者は約 9,200 名となっていますが、実際に学校でボランティア等の活動に従事しているサポーターは約 1,700 名であり、まだまだ学校で活動ができる方を確保することが必要です。保護者の皆様等にも人材バンクについて知っていただくとともに、人材バンクへの登録をしていただければと考えております。

TEPRO Supporter Bank

ティープロ・サポーターバンク

詳細
ご登録



学校現場であなたの力、生かしませんか？



- ① 学習支援
- 特別支援
教育の支援
- 部活動支援
- ICTの支援 など
- 日本語指導
の支援
- 教職員の
事務支援
- エデュケー
ション・
アシスタント

TEPRO サポーター登録

- 登録料・紹介料無料
- 丁寧にサポートします

お気軽にお問い合わせください。

TEPRO サポーターバンク
0120-389-055（平日9時～17時）

公益財団法人
東京都教育支援機構
TEPRO
Tokyo Education Promotion and Support Organization